

北茂安小学校校内研究計画

① 研究主題

思考力・表現力を育てる授業実践
～国語科と算数科の授業改善を通して～

② 主題設定の理由

我が国の児童・生徒は、「文章の構成や内容を的確にとらえながら読み解くこと」や「判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べること」つまり、思考力、判断力、表現力を問う問題に課題があることが指摘されている。本校児童においてもこの傾向は顕著である。学力・学習状況調査では、学年、教科に関わらず、記述式問題の正答率が低い。国語科、算数科の両方において文章全体から必要な情報を正確に取り出し、それらの情報を活用して自分の考えを表現することや複数の資料から情報を取り出し、関連付けて読み取ったり、条件をとらえて気付きや続きを書いたりする問題での誤答が多く見られる。自分の考えをもったり、表現したりすることについて、すべての児童が十分な力をつけているとは言い難い。

また、次期学習指導要領には、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が掲げられていて、児童に求められる資質・能力を育むために必要な学びのあり方を考え、授業の工夫・改善を重ねていくことが求められている。

そこで、昨年度までの研究を継続しつつ、国語科においては児童が目的や必要性を意識して取り組む学習課題を設定して、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる手立てを工夫し、「伝え合う」「書く」などの表現する活動を取り入れた学習過程をより一層充実させる必要がある。算数科においては、課題解決の過程において、自己の考えをもちそれを意識した上でよりよい解法洗練させていくために、説明や意見の交流など対話的な学びを取り入れていくことが必要だと考える。

主体的な学び・対話的な学びを重視した学習過程を工夫し、思考力・表現力を向上させる学習指導の在り方を探るために本主題を設定する。

③ 研究主題の捉え方

・国語科における「思考力・表現力」

考えを形成し深める力であり、習得した知識・技能を活かして課題を解決し、考えや感情・想像を言葉、にする力と捉える。

・算数科における「思考力・表現力」

見通しをもち筋道を立てて考察し、既習の内容と結びつけて統合的、発展的に考え、算数的な表現を用いて事象を簡潔、明瞭、的確に表す力と捉える。

④ 研究の目標

国語科、算数科において、学習課題や知識・技能を習得させる手立てを工夫し、書く活動や伝え合う活動を位置づけた授業づくりを通して、思考力・表現力を育てる学習指導の在り方を探る。

⑤ 研究の仮説

児童が目的や必要性を意識して取り組む学習課題を設定し、技能を習得させる手立てを工夫し、考えを広げたり深めたりするような書く活動や伝え合う活動を位置づけた授業を展開すれば、思考力・表現力を育てることができるであろう。

⑥ 研究の内容

(1) 授業実践

- ・年間、国語2単元、算数2単元の計4単元の授業実践を学年で計画し実施する。
- ・国語科
「学習課題」の具現化を行う。
『分かったことをまとめたり自分の考えや感想等を書いたりする書く活動』の充実を図る。
- ・算数科
学習過程を統一し、課題解決型の授業を行う。
『伝え合う（解き方や考えを記述したり説明し合ったりする）活動』の充実を図る。
全校で統一したノートの手書き方を指導する。
- ・授業報告会をもち、実践や成果・課題を共有する。

(2) 基礎基本の習得と学習環境整備

- ・基礎的・基本的なスキル育成のための国語タイム、算数タイムを行う。
- ・家庭学習の量と質を充実させる。
- ・読書環境を充実し、読書活動を推進させる。
- ・学習規律を徹底するとともに、友達や自分を大事にする気持ちを育てる。

⑦ 研究の視点

(1) 主体的な学びのための手立て

・・・言語活動・課題・発問の工夫

単元のねらいに迫り、かつ児童に学習意欲や見通しをもたせるために、単元を貫く言語活動や学習課題の設定、問題提示を工夫する。

明確で児童の知的好奇心を揺さぶるような課題を工夫すれば、児童は学習意欲が高まり、主体的に学習に取り組むことができると考える。

(2) 自分の考えをもたせるための手立て

・・・知識・技能の習得と活用

自分の考えをもたせるために、習得した知識・技能を活用させる。

単元及び各時間で行う力を明確にし、基礎的・基本的な学習内容を系統的に習得させれば、見通しをもって必要な情報を選択し根拠を明らかにして自分の考えをもつことができると考える。

(3) 自分の考えを表現する場の設定

・・・書く活動・伝え合う活動の工夫

書く活動や伝え合う活動の場を設定する。

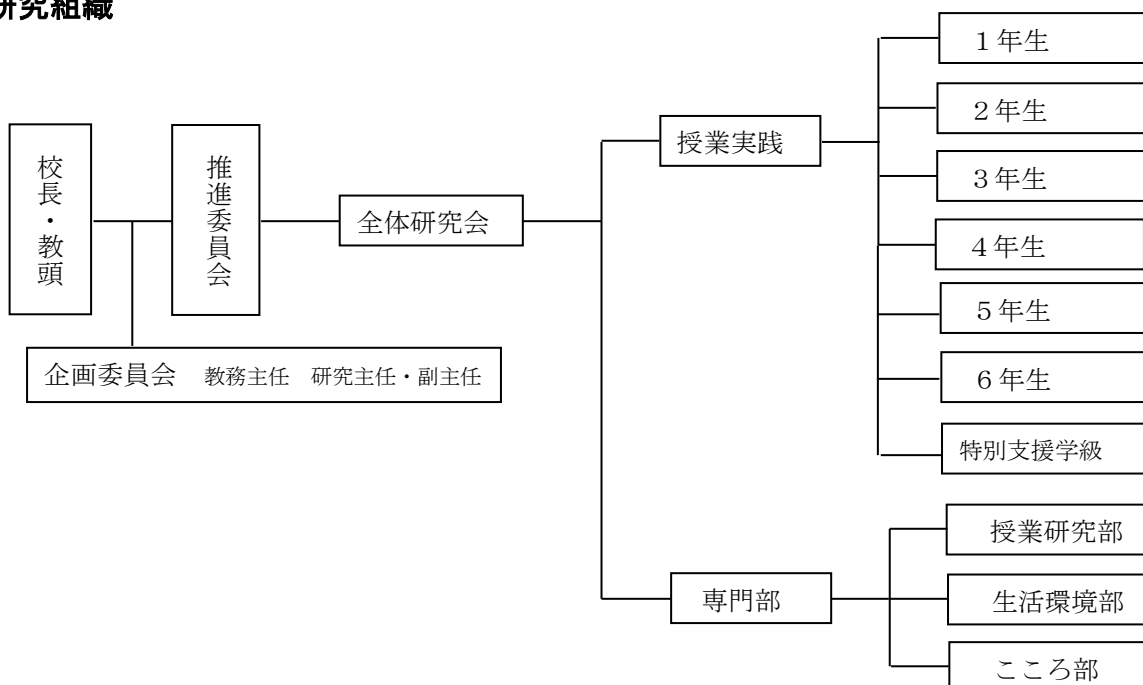
必要な情報を取り出し、それらの情報を整理したり、関連付けたりして自分の言葉でまとめさせる。考えを伝え合う中で、自他の考えを比較して自分の考えを明らかにしたり、友達考えを生かして自分の考えを再構成したりさせる。

考えを広げたり深めたりするような、書く活動や伝え合う活動を位置づけた授業を展開すれば、学んだ知識や技能を活用することができると思う。

⑧ 学年部テーマ（めざす子どもの姿）

| 低学年部 | 中学年部 | 高学年部 |
|------------------|----------------------|------------------------|
| 自分の考えをもち、表現する子ども | 表現活動を通して自分の考えを広げる子ども | 表現活動を通して自分の考えを広げ深める子ども |

⑨ 研究組織



【専門部の活動】

| 授業研究部 | 生活環境部 | こころ部 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 国語科の学習課題 国語科，算数科の学習過程の研究 朝のタイム | 学習規律の確認 家庭学習の充実 読書の推進 校内の掲示物 | 自他を大事にする心を育てる 共に生きるを考える時間の充実 人権標語，なかよし集会の取り組み |

⑩ 年間計画

| | | | |
|-----|----|--|--|
| 1学期 | 4月 | 研究計画（全体・学年） 授業実践時期，単元の決定（学年） 教材研究・授業実践 | |
|-----|----|--|--|

| | | | |
|-----|-----|--------------------------------------|-----------------|
| | | 児童の実態調査・意識調査実施 | 学力・学習状況調査(5.6年) |
| | 5月 | 教材研究・授業実践 講師招聘による講義 6.7月の教材研究・ | 小中連携 三部会① |
| | 6月 | 教材研究・授業実践 | |
| | 7月 | 教材研究・授業実践 | |
| | 8月 | 講師招聘による講義・理論研究 2学期以降の教材研究 専門部会 | 小中連携 三部会② |
| 2学期 | 9月 | 教材研究・授業実践 授業報告会 | |
| | 10月 | 教材研究・授業実践 | |
| | 11月 | 教材研究・授業実践 授業公開 | 小中連携 研究発表会 |
| | 12月 | 教材研究・授業実践 児童の実態調査・意識調査実施 | 学習状況調査(4.5.6年) |
| 3学期 | 1月 | 教材研究・授業実践 児童の実態調査・意識調査実施 | CRT |
| | 2月 | 教材研究・授業実践 授業報告会 研究のまとめ | 研究紀要作成 |
| | 3月 | 来年度の構想 | |

※前期(5～9月)に各学年 国語、算数の授業実践
後期(10～2月)に各学年 国語、算数の授業実践